

- 耕起・均平作業の実施によりドローンによる直播に適した栽培方式に変更。
- センシング用ドローン・収量コンバインにより得られたデータを申請者間で共有・分析し、翌年の肥培管理の改善。

経営上の課題

- ・育苗・移植・施肥・防除・収穫の各生育ステージに労働力の確保が困難であり、各作業にスマート農業技術を導入し、労働投入量の削減及び生産性の向上への取組が必須である。
- ・農業経営上の収益向上のためには、スマート農業技術を活用した水稲直播栽培への転換等による規模拡大が必要なことから、ほ場の条件・環境を整備する取組が必要である。

農業支援サービスを活用し、規模拡大に適応した新たな営農管理体制を構築。

申請者：

桑原光利、株式会社太田農場（北海道当麻町）

対象品目：

水稲

スマート農業技術：

- ・農業用ドローンを活用した直播
- ・センシング用ドローンによるデータ取得
- ・収量コンバインによる収穫作業

新たな生産方式：

- ・ドローン直播に適応した栽培体系の導入
- ・収穫作業とセンシングで得られたデータの共有・分析

活用予定の支援措置：

- ・日本政策金融公庫の長期低利融資
- ・補助事業の優遇措置

計画の概要

【申請者】
桑原光利
株式会社太田農場

作業委託



【サービス事業者】
株式会社アグリポートカトー

スマート農業技術

農業用ドローン



水稲直播

センシング用ドローン



ほ場状態や水稲育成
データを取得

収量コンバイン



収量・水分・タンパク率・
穂重等のデータを取得

新たな生産方式

直播栽培体系
の導入

圃場の均平化

データの共有・分析

農家間でサービス事業者が取得したデータを
共有・分析し、肥培管理等を改善